

**第509回 6月27日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

大村 英昭 木下 明美
國定 浩一 櫻井 美幸
東野 博昭
荒巻 裕(書面参加)

◆テレビ番組「ちちんぷいぷい」

5月31日（水）14時00分～17時50分放送

毎日放送の第509回番組審議会は6月27日大阪市北区の本社で開かれ、月～金の情報生ワイド番組「ちちんぷいぷい」を取り上げ、5月31日放送分を中心に審議しました。この番組は、1999年10月に3時間の生ワイド番組としてスタート。パーソナリティーの角淳一がプロジェクターを読みながら進行するという新しい形が支持を集め人気番組に。今年4月からスタートを1時間早め午後2時から月～金4時間の超大型番組としてリニューアルしています。

- * 穏やか、ほんわかした番組で昔からのファンだが、逆に言うと毒がなく甘い感じだ。事件に切り込む鋭さもほしい。プロジェクターを使った文字情報を多用しているが、最近では情報量が多過ぎる。使い方に一考を。4時間は長い。
- * 今回の「ぷいぷい見聞録」は専業主婦の夫と、漫画家の妻。ほんわかとした、あのカップルあり方。今日的ないいものをソフトに、押しつけがましくなく伝えていて好感が持てた。
- * 「ちちんぷいぷい」風、「まったり」、「ほんわか」の角さんのあの感じはこの番組の基本の色彩。世の中は激変しているが、結婚式が仲人抜きになるなど、いろいろな「隔世の感」を扱うと面白いのでは。

- * 番組が1時間のびたことの新機軸としての、ロングインタビュー。角淳一、そして毎日放送がラジオ、テレビでずっとおつき合いをしてきた人たちの財産をうまく、番組につなぎ、また確実に財産を生んでいる。
- * 3時間でも長いのに4時間とは思って見たが、全体的に楽しく見た。角淳一ワールド、角さんの色を今後どこまで貫いていくのか、どう濃淡をつけていくのかのが難しいところなんだろうと感じた。
- * 毎日放送の魅力は「ニュースの報道力」と「エンターテインメント力」。「ちちんぷいぷい」は「エンターテインメント力」を結集したニュースワイド・バラエティーショーとしてまずまずのできばえ。毎日、4時間を構成するのは大変と思うが、日にひとつか2つ深みを感じるパートを入れてほしい。